

- 各町にきめ細かく分散させる発想ではなく、商業エリア、居住エリアなどを含めた、集積・面的なゾーニングを考えるべき。
- インフラや病院・商業施設等は規模が必要であり、それらも含めた集約を考えるべき。
- 自治体のポテンシャルや被災状況、地理的な条件や歴史的な背景など把握した上で、それぞれの自治体が役割分担すべき。
- 市町村ごとで復興の時間軸が異なっており、将来の帰還時期を見据えた施設整備を考えるべき。
- 双葉郡の復興には本構想が不可欠であり、浜通り全体の復興が進むよう配慮すべき。
- 居住環境、生活環境が重要。
- 働く場所についての議論の前に住民の帰還の議論があるべき。